



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東  
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,270	1.8	△153	—	△117	—	△103	—
2024年3月期中間期	9,106	△1.2	△208	—	△181	—	△150	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△14.69	—
2024年3月期中間期	△21.36	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	16,542	6,928	41.9	982.01
2024年3月期	15,886	7,109	44.8	1,007.62

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 6,928百万円 2024年3月期 7,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	0.5	300	4.3	368	3.7	210	2.5	29.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	7,275,500株	2024年3月期	7,275,500株
2025年3月期中間期	220,000株	2024年3月期	220,000株
2025年3月期中間期	7,055,500株	2024年3月期中間期	7,055,500株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調が続いている一方、インフレの継続や円安進行による消費者物価上昇の影響は大きく、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、人流の回復はみられるものの、仕入価格の高騰や人件費の上昇等コストの高止まりが続いており、また長引く物価高による消費者マインドの停滞も懸念され、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『一意専心（決めた目標のために、迷わず心を集中させる）』を掲げました。消費者の節約志向が高まる中、お客様一人ひとりにご満足いただき再来店していただくため、アフターコロナの今だからこそ対面接客に注力することで「集客力の向上」「顧客の確保」に努めて参りました。

2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレゼ南相馬店」（グランドオープンは同年6月）を新規出店し、同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」（旧店舗名ダイソー原町店）を移転オープン致しました。同年6月には茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」（旧店舗名イエローハット高萩店）を新築移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレゼ角田店」（グランドオープンは同年7月）を新規出店致しました。また、同年7月に秋田県秋田市にあるアップガレージ秋田店の運営を(株)アップガレージグループに譲渡し、同年同月宮城県大崎市にアップガレージ宮城古川店を新規出店致しました。

当中間会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが8店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレゼが4店舗（前年同期間比2店舗増）の合計125店舗（前年同期間比2店舗増）となっております。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高は9,270百万円となり、前年同期間比164百万円（前年同期間比1.8%増）の増収となりました。経常損失につきましては117百万円（前年同期間は経常損失181百万円）となりました。中間純損失は103百万円（前年同期間は中間純損失150百万円）となりました。増収の要因は主として、イエローハット事業及びアップガレージ事業において、前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだことによるものとなっております。費用面においては、3ヵ月連続した新規出店に伴う費用が増加したものの、増収により赤字幅が減少しております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### [イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、2024年6月に茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」（旧店舗名イエローハット高萩店）を新築移転オープン致しました。主に対面接客による「タイヤの拡販」及び「車検の拡大」に注力して参りました。前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだことにより、当中間会計期間の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高6,959百万円（前年同期間比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（前年同期間は11百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

#### [TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を行い販売に注力したものの、1店舗退店の影響もあり、当中間会計期間の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高744百万円（前年同期間比11.6%減）、セグメント損失（営業損失）は38百万円（前年同期間38百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

#### [アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、2024年7月に秋田県秋田市にあるアップガレージ秋田店を(株)アップガレージグループに譲渡し、同年同月宮城県大崎市にアップガレージ宮城古川店を新規出店致しました。イエローハット事業同様、前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだことにより当中間会計期間の売上高は好調ではあったものの新規出店による経費の増加もあり、増収減益となっております。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高467百万円（前年同期間比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同期間比17.6%減）となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレゼ南相馬店」(グランドオープンは同年6月)を新規出店し、同年6月同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」(旧店舗名ダイソー原町店)を移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレゼ角田店」(グランドオープンは7月)を新規出店致しました。

シャトレゼ事業は、売上高は好調ではあったものの新規出店による費用の増加もあり、増収減益となっております。

ダイソー事業、コマダ事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

カーセブン事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高1,099百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益(営業利益)は42百万円(前年同期比1.2%減)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当中間会計期間末における流動資産の残高は203百万円増加し、7,695百万円(前事業年度末7,491百万円)となっております。これは主に、売掛金が132百万円減少したものの、商品が471百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は452百万円増加し、8,847百万円(前事業年度末8,394百万円)となっております。これは主に、建物が598百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は16,542百万円(前事業年度末15,886百万円)となっております。

② 負債

当中間会計期間末における流動負債の残高は537百万円増加し、6,663百万円(前事業年度末6,125百万円)となっております。これは主に、未払法人税等が117百万円及び未払消費税等(その他の流動負債)が138百万円減少したものの、買掛金が741百万円増加したことによるものであります。

また、当中間会計期間末における固定負債の残高は299百万円増加し、2,950百万円(前事業年度末2,651百万円)となっております。これは主に、長期借入金が301百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は9,613百万円(前事業年度末8,777百万円)となっております。

③ 純資産

当中間会計期間末における純資産の残高は180百万円減少し、6,928百万円(前事業年度末7,109百万円)となっております。これは主に、中間純損失を103百万円計上及び剰余金の配当を70百万円支払ったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	894,793	850,767
売掛金	690,920	558,366
商品	5,480,448	5,951,979
貯蔵品	2,272	2,258
その他	423,236	331,908
流動資産合計	7,491,671	7,695,281
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,552,660	3,151,130
土地	2,498,358	2,498,358
その他(純額)	1,067,834	907,297
有形固定資産合計	6,118,853	6,556,786
無形固定資産	20,219	22,784
投資その他の資産	2,255,541	2,267,535
固定資産合計	8,394,614	8,847,106
資産合計	15,886,285	16,542,388
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,034,034	1,775,744
短期借入金	3,250,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	366,654	439,988
未払法人税等	162,948	45,229
賞与引当金	93,333	116,666
契約負債	415,222	420,177
その他	803,424	615,551
流動負債合計	6,125,616	6,663,357
固定負債		
長期借入金	641,698	942,954
退職給付引当金	1,609,661	1,604,587
役員退職慰労引当金	166,108	168,268
資産除去債務	183,724	185,360
その他	50,222	49,322
固定負債合計	2,651,414	2,950,492
負債合計	8,777,031	9,613,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,725,551	4,551,373
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,028,461	6,854,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,791	74,253
評価・換算差額等合計	80,791	74,253
純資産合計	7,109,253	6,928,537
負債純資産合計	15,886,285	16,542,388

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,106,456	9,270,887
売上原価	4,867,592	4,938,070
売上総利益	4,238,863	4,332,816
販売費及び一般管理費	4,447,759	4,485,970
営業損失(△)	△208,896	△153,154
営業外収益		
受取配当金	6,989	4,876
受取手数料	11,318	10,425
産業廃棄物収入	6,521	9,909
その他	21,142	23,039
営業外収益合計	45,972	48,251
営業外費用		
支払利息	10,389	10,979
その他	7,770	1,828
営業外費用合計	18,160	12,808
経常損失(△)	△181,083	△117,711
特別利益		
固定資産売却益	49	30
特別利益合計	49	30
特別損失		
固定資産除却損	5,950	136
特別損失合計	5,950	136
税引前中間純損失(△)	△186,983	△117,817
法人税、住民税及び事業税	19,206	18,059
法人税等調整額	△55,452	△32,253
法人税等合計	△36,246	△14,194
中間純損失(△)	△150,736	△103,622

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益計 算書計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,784,367	843,084	452,873	8,080,325	1,026,131	9,106,456	—	9,106,456
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,173	684	150	11,008	15,089	26,097	△26,097	—
計	6,794,541	843,768	453,024	8,091,333	1,041,220	9,132,554	△26,097	9,106,456
セグメント利益 又は損失(△)	△11,695	△38,211	4,218	△45,687	43,514	△2,173	△206,722	△208,896

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△206,722千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益計 算書計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,959,012	744,904	467,089	8,171,006	1,099,880	9,270,887	—	9,270,887
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,199	818	515	11,533	13,320	24,853	△24,853	—
計	6,969,211	745,722	467,605	8,182,539	1,113,201	9,295,741	△24,853	9,270,887
セグメント利益 又は損失(△)	53,576	△38,685	3,476	18,367	42,983	61,351	△214,505	△153,154

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△214,505千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。